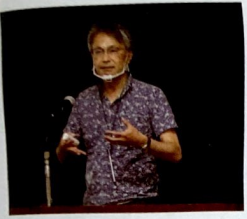


■サンゴを守る ネットワークづくり

今年3月24日には「八重山うみしまフレンドシップ」交流の集いがNPO法人石西礁湖サンゴ基金主催で開催され、30人ほどが交流。サンゴ礁を守る仲間たちが集った。

現状では75名が加入しているという八重山うみしまフレンドシップ。海と共に暮らす八重山の暮らしスタイルを探っていくという。

4年前の2019年3月18日に、大濱信泉記念館でサンゴ認定に関するフォーラムが開催され、サンゴ認証の制度の話題が出た。その後、認証制度は2022年4月24日に発表され、サンゴ礁を守る取り組みを開始する業者や個人に八重山うみしまフレンドシップに登録してもらい、互いに情報交換など海と島を守る輪を広げる一助にしているというもの。登録者はシンボルマークの利用が可能という特典がある。本土出身者に偏りがちな環境保全仲間は、2000年からの系譜で、2つのサンゴのセンターの共通した傾向でもあった。その壁に挑むべく、特典を拡大できるように、国が進めるマイナンバーカードのポイント付与と絡めば面白いのではないか。サンゴ礁保全に協力する人は、八重山の観光資源を守ることに貢献することにもなる。



八重山うみしまフレンドシップ交流会の集いで挨拶する宮良善和 NPO 法人石西礁湖サンゴ礁基金理事



フレンドシップのマーク